

教育長だより

No. 22

2022年10月19日

おばあちゃんのトマト

～ 滋賀県青少年育成県民会議「優秀賞」～

今年度の「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する作文で、北野小学校2年のKRさんが優秀賞を受賞されます。授賞式は11月12日ですが、すばらしい作文ですので、さっそくみなさんに紹介します。

おばあちゃんのトマト

きたの小学校 二年 KR

おばあちゃんのおかげで、きれいなトマトがたべられるようになりました。

わたしのおばあちゃんは、はたけでむのうやくのやさいをそだてていて、わたしのいえにおくってくれます。おばあちゃんがおくってくれたやさいは、にんじん、きゅうり、ブロッコリー、玉ねぎも大すきだけれど、トマトは、どうしてもたべられません。すっぱそうだし、かたそうだからです。

ある日、おばあちゃんがいえにあそびにきたとき、はたけでとれたトマトをザルいっぱいにもってきました。

おばあちゃんは、トマトをサラダに入れたり、スープに入れたりして、たべていました。ミキサーでジュースにもしていて、

「おいしい、おいしい。」と言って、にっこりえがおになっていました。

それを見ていたわたしは、

「おいしそうだな。」と思いました。

ばんごはんになると、わたしのサラダのおさらにも、トマトがのっていました。いつもはたべられないけれど、おばあちゃんがおいしそうにたべていたのでわたしもちょっとたべてみようと思いました。一口たべてみると思っていたより、あまくて、おいしくて、わたしも、にっこりえがおになりました。

その日わたしは、たくさんトマトをたべて、その日からトマトが大すきになりました。

おばあちゃんのおかげで、わたしはトマトがたべられるようになりました。おばあちゃん、いつもおいしいやさいをありがとう。

わたしは、ことし小学校のじゅぎょうで、トマトをつくりました。こんどは、わたしがつくったトマトをおばあちゃんに、たべてもらいたいです。またあの日みたいなにっこりえがおが見られますように。

この作文、みなさんどうですか？ 私はKRさんがまるで目の前でお話ししてくれているようで、心を動かされました。そして、おばあちゃんとのいっぱいの温(ぬく)もりをもらいました。